

令和7年3月7日

自治会長 各位

渋川市長 高 木 勉
(市民環境部市民協働推進課)
(公 印 省 略)

「自治会長懇談会」実施結果の送付について（通知）

日頃より、自治会活動に御尽力賜り、心より感謝申し上げます。

昨年10月から11月にかけて各地区で実施いたしました「自治会長懇談会」では、お忙しいところ御参加いただき、誠にありがとうございました。

このたび、各地区懇談会の実施結果がまとまりましたので、別紙のとおりお送りいたします。

御不明な点などございましたら、下記担当まで御連絡くださいますようお願いいたします。

担当：市民環境部 市民協働推進課
自治活動支援・市民交流係 新保
(市役所本庁舎2階)
電話 22-2463 (直通)

自治会長懇談会（古巻・豊秋地区） 実施結果

1 開催日時 令和6年10月22日（火）
午後6時00分 ～ 午後7時30分

2 開催場所 市役所第二庁舎202会議室

3 出席者
（自治会関係）

No.	自治会名	職名等	氏名	備考
1	有馬自治会	会長	中島 修	
2	八木原自治会	会長	青木 文男	
3	半田南部自治会	会長	志村 英治	
4	半田北部自治会	会長	高橋 是久	
5	行幸田第一自治会	会長	鈴木 久嗣	
6	行幸田第二自治会	会長	篠原 隆生	
7	本石原自治会	会長	大島 喜好	
8	石原西自治会	会長	横尾 克己	
9	中村自治会	会長	山田 種明	
10	石原田中自治会	会長	生方 俊夫	

（市当局）

No.	部局名等	職名等	氏名	備考
1	渋川市長		高木 勉	
2	副市長		伊勢 久美子	
3	総合戦略部	部長	鴻田 吉史	
4	総務部	部長	星野 幸也	
5	情報防災部	部長	萩原 義人	
6	市民環境部	部長	田中 良	
7	福祉部	部長	生方 清三郎	
8	育都推進部	部長	角田 義孝	
9	産業観光部	部長	金井 裕昭	
10	建設交通部	部長	柴崎 憲一	
11	上下水道局	局長	木村 裕邦	
12	教育部	部長	斉藤 章吉	
14	市民環境部市民協働推進課	課長	小野 宏仲	
15	市民環境部市民協働推進課 自治活動支援・市民交流係	統括主幹	南雲 高	
16	市民環境部市民協働推進課 自治活動支援・市民交流係	主幹	新保 悟	
17	市民環境部市民協働推進課 自治活動支援・市民交流係	主事	石井 千智	

4 自治会長からの意見等

別紙のとおり

自治会長からの意見・要望等

No.	自治会長からの意見・要望等	市からの回答等
1	(発言者) 有馬自治会長 (中島) 置き場の混雑対策 10月の道路清掃で南部幹線下の置き場に運んだ。初めから残っていたものもあったことから、すぐにいっぱいになってしまった。いっぱいになることで渋滞にもなってしまったので、次回の春までに片付けておいてもらいたい	(回答者) 建設交通部長 - 置き場については早めに処分できるよう対応していきたい。また、出来る範囲で自治会内での処分の協力をお願いしたい。 (土木維持課への照会結果) - 道路愛護期間前までには、片づけます。 - 混雑を避けるため新たな置き場を確保しました。場所等は改めてお知らせします。
2	(発言者) 行幸田第二自治会長 (篠原) 道路愛護での回収について 春は市で片付けてもらえたが、秋はやってもらえないということで、急遽、置き場へ搬入した。行幸田自治会としては今までどおり回収してもらいたい。昨日、土木維持課へ要望書も提出した。どうしてこうなってしまったのか。秋は中型トラック2台、軽トラ13台で2往復した。置き場への搬入作業は狭いし危険だと感じた。今までどおりの対応を要望します。	(回答者) 建設交通部長 現実的には、市も今までのように手が回らなくなってきています。現場班の確保が難しくなってきています。自治会内で処分できる範囲での道路愛護をお願いしているところであります。
3	(発言者) 行幸田第二自治会長 (篠原) 搬入するごみを少なくするためゴミ袋で燃えるごみを処理しようとも考えた。中身が落ち葉や小枝なので、結局、軽トラに積み込むことにした。 道路清掃の前に燃えるゴミで処理したいので、住宅地以外の周辺道路は市で清掃して欲しいと要望を出した。ですが、道路清掃を終わってみて、市でもやれる体制はないと思いました。住民がやった方が周辺きれいになって非常に良いわけで、予算がないのは分かるが、今までは出来ていたものなので、今までどおり回収はやってもらえると非常にありがたい。	(回答者) 建設交通部長 あらためて考えさせていただきま す。道路愛護で手の回らないところについては、市へご相談いただければ対応いたします。

4	(発言者) 半田南部自治会長 (志村) ・ 8 年前に私がまだ理事だった頃、ゴミ袋に入れて出していた。市から出せないと注意を受け、置き場へ運び入れるようになった経過がある。	(回答者) 建設交通部長 ・ 南部幹線の置き場まで運んでいただければその先は処分いたしますので、運ぶところまではご協力いただきたい。 ----- (環境森林課への照会結果) ・ 市民の方が利用する、ごみ集積所は、家庭から出る（一般廃棄物）ごみを出す場所となっています。このため、道路愛護で出るごみは、ごみ集積所に出すことができません。
5	(発言者) 石原西自治会長 (横尾) ・ 山から出てくる土砂 畑からの土砂は、市からの働きかけのおかげでかなり減ったが、山から出てくる葉っぱ、枝が側溝に溜まってしまう。葉・枝は取るが土砂そのままにしている。どうしたらいいのか懸念している	(回答者) 建設交通部長 ・ できる範囲でやっていただければと思います。手がつけられないところについては、要望をいただければ対応いたします。 ----- (回答者) 産業観光部長 ・ 昨年大中子団地のところの農地について、耕作者へ適正管理をお願いしたところです。農地は民地なのでお願いにはなりますが、さくの向きや、土手の管理などについて指導しています。 ----- (農政課への照会結果) ・ 令和 6 年 1 1 月 2 日に現地を確認し、1 1 月 2 4 日に農地耕作者へ状況を説明し対応を依頼しました。 ----- (土木維持課への照会結果) ・ 懸念される状況があれば、その状況を報告してください。

6	(発言者) 中村自治会長 (山田) ・置き場の片付け 片付いていないと、手前に置かざるを得なくなって渋滞になる。置き場を道路愛護前に片付けてもらえるといい。	(回答者) 建設交通部長 ・対応できるようにいたします (土木維持課への照会結果) ・道路愛護期間前までには、片づけます。 ・混雑を避けるため新たな置き場を確保しました。場所等は改めてお知らせします。
7	(発言者) 中村自治会長 (山田) ・関越道周りの樹木・土砂について、車を出して土砂上げしている。置き場に土砂を運ばせて欲しい。 道路公団の樹木の伐採の頻度が吉岡エリアに比べると、インター周辺は少ないのでは無いか。住民が苦慮しないよう生活環境を整えてもらいたい	(回答者) 建設交通部長 ・市でも公団に話をしておりますが、すぐには対応してもらえていないのが現状ではあります。引き続き要望していきます。 土砂の置き場への搬入は難しいところではあります。大量にある場合には市にご相談をいただければ対応を検討したい (土木管理課への照会結果) ・10/30 現地確認 ・10/31 自治会長に連絡し対応方法を協議 ・11/5 NEXCOに対し現場確認と伐採等、適正な管理を依頼 ・11/15 NEXCOより枝葉の剪定、雑木の伐採の対策を検討していると回答あり ・側溝に土砂など溜まり影響がある場合は土木維持課で対応 (土木維持課への照会結果) ・懸念される状況があれば、その状況を報告してください。

8	(発言者) 行幸田第一自治会長 (鈴木) ・ 欠員となった民生委員の委嘱のタイミングについて 欠員が出て、後任を選出しなければならなかった。民生委員は、県の都合で毎月15日ㄨで翌月 1 日に委嘱されます。この15日のㄨに間に合わないケースでは不在となってしまいます。 県の都合ではあるが、現場を持っている市が対応することが出来ないのか。例えば委嘱を受けられるまでの間の扱いについて内規などを作って対応してもらいたい	(回答者) 福祉部長 ・ この度の選出にご協力いただきありがとうございました。早速、会長と地域包括ケア課で相談しているところがあります。今回の転出だけで無く様々なケースで空白が生まれる可能性があります。地域を支えていただいている民生委員さんですので空白が生まれることのないように、良い方向に向かうように内規などの制度ができるか検討しております。できましたら民生委員児童委員の役員会に諮って進めてまいります。引き続き今後よろしくお願いいたします。 (地域包括ケア課への照会結果) ・ 民生委員児童委員の任期途中における委嘱替え (前任者の市外転出や死亡等に伴う退任) の際には、後任者の委嘱までに空白期間が生じる可能性があることから、民生委員児童委員の活動が中断することがないよう、標準的な取扱いについて、民生委員児童委員協議会の役員会において承認を得ました。
9	(発言者) 石原西自治会長 (横尾) ・ 法務局から石原西自治会までの竹林が電線に引っかかったりする。毎年要望しているが、要望しなくても対応できる仕組みにならないか。	(回答者) 建設交通部長 ・ 本来的には所有者にやっていただくのが原則ではあります。その方が対応できない場合には、東電やN T T がやっていただくことになるかと思えます。そちらの対応は確認してご連絡させていただきます。 (土木管理課への照会結果) ・ 10/30 現地確認 ・ " N T T へ状況を連絡 ・ 10/31 自治会長に連絡し現況とN T T の対応を伝える

1 0	(発言者) 八木原自治会長 (青木) ・ 八木原駅駐車場閉鎖の対応 日決め駐車場の閉鎖の案内看板の連絡先に自治会が一番上になっている。問い合わせにどう答えれば良いのか。こんなものは出して欲しくない 出すときには、今後の対応も書いてもらいたい。3月に閉鎖する前に使用している方が対応できるようにしてください	(回答者) 総務部長 ・ 令和7年3月31日をもって自治会にお願いしている駐車場は閉鎖となります。直前に知らされると困ることから、早めの周知として掲示しているものです。経緯を把握して無くて申し訳ありません。どういった経過で誰と連絡を取ってこのお知らせを作成したのか、担当課から連絡させます。 (財産活用課への照会結果) ・ 自治会の駐車場担当役員に案を示したものが、決定事項と勘違いされたもの 10/24 自治会長宅に、交通政策課長と訪問し協議 引き続き、自治会と駐車場閉鎖に伴う調整を行い、今後駐車場等に閉鎖の看板を設置
1 1	(発言者) 八木原自治会長 (青木) ・ 駅東側の花畑の管理 来年3月で借地契約が切れる。自治会から手が離れることになるが、その後の管理はどうなるのか	(回答者) 建設交通部長 ・ 担当部署と相談をして改めてご連絡させていただきます。 (財産活用課への照会結果) ・ 10/24 自治会長宅に、交通政策課長と訪問し説明 来年4月以降は、八木原駅周辺整備事業用地として、作業現場や作業員駐車場として使用

1 2	(発言者) 八木原自治会長 (青木) ・耕作放棄地から伸びた草の対応 私有地や空き家空き地は手を出さない方が良いと聞いているので、自治会では手を出していない。どう対応したら良いのか	(回答者) 市民環境部長 ・民法は変わりましたが、所有者に承諾をもらわないと切れないことから、市民協働推進課に連絡をいただければ、連絡を取ることもできますのでご相談ください。
		(回答者) 産業観光部長 ・耕作放棄地については、全市的に増えています。市では農業委員会が対応しています。所有者、耕作者へ連絡を取っていますので、何かあればご連絡ください。
		(農業委員会事務局・農政課への照会結果) ・数年にわたり耕作されずに、樹木や雑草が生い茂っている荒廃農地については、農業委員会において農地所有者に対し、適正な農地管理をして頂くよう通知しております。しかしながら、高齢化などで対応できていないケースも多く見受けられることから、農地の利用状況調査などを実施しながら遊休農地対策を強化していきたいと考えております。また、地域農業者で構成する組織団体による多面的機能支払い交付金事業を活用することも農地の管理に有効であります。
		(市民協働推進課への照会結果) ・R6. 10. 22 対応済 市民環境部長から、民法改正により、空き家の木の枝が境界を越えてきた場合は、所有者に連絡し、2週間程度以内に対応されない場合には切り取ることができるようになったことについて説明しました。

13	(発言者) 有馬自治会長 (中島) ・統計調査員の依頼について 月初めに会議をしているので、月途中に依頼が来て、月末までに報告というのは無理がある。せめて2か月前に依頼が出来ないか。配慮してもらいたい	(回答者) 副市長 ・昨年自治会長の負担軽減でワンストップ窓口を市民協働推進課内に設置しました。道路のことでもなんでも一旦入れれば、そこから役所内に繋ぐというのをやりましたが、それだけでは、まだ足りないことが市の方でも分かっています。いろんな課がバラバラに自治会長へ依頼していることが大変なのではないかということで、市民協働推進課を窓口にして市がお願いすることを集約する仕組みを作らなければ負担軽減には繋がらないということを市も承知をしております。その仕組みの構築は依頼が多岐にわたっていて難しいですが、お願いをするときにはまとめて、そして締め切りには余裕を持って、回答も簡易な方法でできるようにというようなことを考えております。問題点については承知をしております。貴重なご意見をありがとうございます。迷惑をかけて申し訳ありません。 (DX推進課への照会結果) ・統計調査員候補者の選任にあたっては、市の統計調査協力員及び公募等で候補者を確保できない場合に自治会に推薦依頼をしています。令和7年度には国勢調査が予定されており、多くの自治会に調査員候補者の推薦を依頼させていただくことが予想されます。早期から調査員候補者の確保に努めるとともに、余裕のあるスケジュールで自治会に推薦依頼できるよう配慮いたします。
----	---	--

1 4	(発言者) 本石原自治会長 (大島) ・ 中上線の信号が無くなることについて 今の現状を聞きたい	(回答者) 建設交通部長 ・ 国道になりますので、国の方針だと撤去したいという方向性であるということは何っております。ただいつ撤去するとか地元説明がいつなどの詳しい話はきていません。国としては国道になり交通量も増えるので信号はなるべく減らしたい意向があるようです。とはいえ地元とすれば生活上それが無いと困ると思いますので、そこは話を常に伝えています。なるべく地元の意向が反映できるように努力していきたいと思います。 (危機管理室への照会結果) ・ 本石原西の信号機について、渋川警察署に確認したところ、市内の上信自動車道整備にあわせて撤去するのではなく、開通後の渋滞等の交通状況を踏まえて判断するとのことでした。
-----	---	--

1 5	(発言者) 中村自治会長 (山田) ・ 国道17号の立体化 今後何かある場合には市から説明をもらいたい。 先日、立体化工事に伴う車線変更があった。完成まで早くて2年、場合によっては3年と聞いている。掲示や回覧を最低限お願いしているが、市も監視・把握してもらいたい	(回答者) 建設交通部長 ・ 信号については地元の人が生活に困るし、無くなると危ない状況になると言うことを懸念しています。国交省に随時伝えていきたいと思います。 ・ 立体化については、10/16の夜に切り替わりました。国交省から市でも随時情報提供を受けており、掲示や回覧、説明会をして欲しいという話もしています。なかなか説明会をやってももらえない状況ではありますが、掲示や案内板について随時行ってもらっております。市としても今後も注視してまいります。 (回答者) 副市長 ・ 上信道は高規格道路となり、市としては大きな変化があります。不便になったこともありますが、一方で早く遠くへ移動できるようになります。市としては通過されないような検討もしております。いろいろなところで変わることに対するご意見をいただいております。そういったご意見は市が伝えないと県や国には届きませんので、伝えさせていただければと思います。 (土木管理課への照会結果) ・ 市からも、(国土交通省に) 今後の事業内容について、(必要に応じ) 地元へ周知するようお願いをしている。国土交通省が説明会を実施する際は、市側も出席をする予定。
-----	---	--

1 6	(発言者) 行幸田第二自治会長 (篠原) ・災害時の要支援者への対応 今年度タイムラインを作成したが、要支援者の対応について自治会内で議論になった。市は支援についてどう考えているのか 支援者が入っていない名簿を危機管理室からもらっている。	(回答者) 福祉部長 ・名簿を作成する段階では支援者を記載しています。作っただけでは安心できないので、タイムラインをもとにどうやって支援していくか、そこから築き上げていく。 (回答者) 情報防災部長 ・支援が必要な人へは避難者支援制度というのがあります。個人個人のプランに合った個別避難計画を作成しています。その情報を自治会、民生委員、警察、消防も持っています。有事の際や避難が必要な際には、そういった方々が協力して支援することになっています。その名簿が自治会にもいっています。 (危機管理室への照会結果) ・災害時要支援者名簿については、災害時に一人では避難するのが困難な方が記載されています。災害時には、地元自治会の皆さんの協力を得なければ、助けることができませんので、名簿を活用し、避難誘導等について手助けをしていただければと思います。 また、名簿に記載されている方は、登録申請時に自治会等への名簿の提供について承諾を得ていますので、自治会役員等で共有していただいても大丈夫です。 また、今後については、地域における互いの支援や共助の活動内容を記載した、地区防災計画の作成について検討していただければと思います。
-----	--	--

17	(発言者) 八木原自治会長 (青木) ・災害時要支援者名簿 名簿は預かっているが、見せるな、コピーするなど言われている。 支援者になっている人自身が知らない場合もある。支援者のやるべき事を周知くらいはして、名簿を配ってほしい。	(回答者) 情報防災部長 ・基本的には申請方式となっています。支援を希望する人が提出しているものになります。支援者も承諾していないとできないものだと認識しております。 (回答者) 市長 ・情報の扱い方については整理して、個人情報だから何があっても絶対見せないでくださいなんてのは意味が無い。 自治会長さん、民生委員さんに何かの時に使えるように、活きる名簿となるようによく整理して対応したい (危機管理室への照会結果) ・災害時要支援者名簿については、災害時に一人では避難するのが困難な方が記載されています。 災害時には、地元自治会の皆さんの協力を得なければ、助けることができませんので、名簿を活用し、避難誘導等について手助けをしていただければと思います。 また、名簿に記載されている方は、登録申請時に自治会等への名簿の提供について承諾を得ていますので、自治会役員等で共有していただいても大丈夫です。 今後については、地域における互いの支援や共助の活動内容を記載した、地区防災計画の作成について検討していただければと思います。 (地域包括ケア課への照会結果) ・災害時要支援者名簿への登録申請の際には、原則として、避難支援者に予め同意を得てから、届出することになっております。 避難支援者には、災害発生時において、避難支援者の安全を確保できる範囲で、避難行動要支援者の安否確認や避難誘導等に対する協力を依頼するものです。 災害時要支援者名簿が、有事の際における避難行動要支援者の円滑な避難支援につながるよう努めてまいります。
----	--	---

18	(発言者) 半田北部自治会長 (高橋) ・ 渋 P a y の今後の発展 ポイントがつくときは大騒ぎしても らうが、普段は使われていないと話が 出た。この先、発展させていく予定が あるか。紙のカードは使える場所も少 ないと聞いている。	(回答者) 情報防災部長 ・ 渋 P a y もプリペイドカードを始め ました。500円、1000円、2000円と千 円単位で購入することができます。そ のままも使えるし、スマホに入金する こともできます。ぜひ粗品や贈答とし て使っていただきたい。クオカードだ と手数料がかかりますが、渋 P a y は かかりません。 使える場所についても、拡充を頑 張ってやっていますので、ぜひご利用 いただければと思います。 (D X推進課への照会結果) ・ キャンペーン実施時に比べて平常時 の利用は少なくなりますが、令和6年 度のポイント還元キャンペーン終了後 も一定額の渋 P a y 利用が継続して おります。また、令和6年10月末現在 の加盟店数は348店舗となります。 今後は、本年10月1日から渋 P a y プリペイドカードの販売を開始しま したので、より多くの方にさまざまな 場面で渋 P a y を利用していただける よう普及促進に努めたいと思います。
----	--	---

【市長より】

自治会長懇談会にいろいろなご意見をいただきありがとうございます。様々な意見が出されました。切実な話、生の声だと思います。しっかりと対応していきたいと思っています。

一つは道路愛護でやってきていますが、ボランティアと言っても地域の皆さんだけではできなくなってきています。高齢化だったり人がいなくなったりだとかという状況になってきています。今まで地域でやってきたものも、行政でやらなければならないものも出てくると思います。その辺を見直していかなければならないと思っています。ご意見をいただいて、予算を確保していきたいと思っています。

八木原周辺整備はいよいよこれから現場が動き出します。工事の関係でいろいろ不都合が生じますので情報をしっかりと提供して、2年という年単位の仕事ですので、その間の対応も協議しながら進めます。

地域の自治会の会議のタイミングを外すと大変なことになる。地域の実情に応じてお願いをするようにしていきたいと思っています。これから年末になりますと人が集まることも多くなると思いますので、そういったときに情報が伝わるようお願いすることはしていきたいと思っています。

古巻豊秋は大きな道路が通るところでもあります。前橋伊香保線の吉岡バイパス延伸、上信道の渋川西バイパスの開通、そういった情報が国の仕事だと言うことで情報提供が滞ったりしますので、市としてしっかり把握してお知らせできるようにしたい。

上信道については高規格道路のため設計速度や構造が決められた道路です。高規格道路は信号が無いことが原則なんです。市内については生活道路となっているため、信号機の問題は国の方に協議をしていきたいと思っています。

そのほかにもいろいろな課題があります。地域の自治会長さんと情報を密にして進めていきたいと考えておりますので、遠慮無く申しつけてください。自治会ワンストップというものを作りましたのでこの部署とか関係なく市民協働推進課へご連絡いただければと思っています。

逆にお願ひする方もまとめていければと思っていますのでよろしくお願ひいたします。

これから年末年始に向かいます。寒くなりますし、これからいろんな行事が地域で行われます。自治会長さんは大変忙しい時期を迎えることになる訳ですが、どうぞお身体を大事にいただき、市民のために活躍していただきたいと思います。本日は大変ありがとうございます。